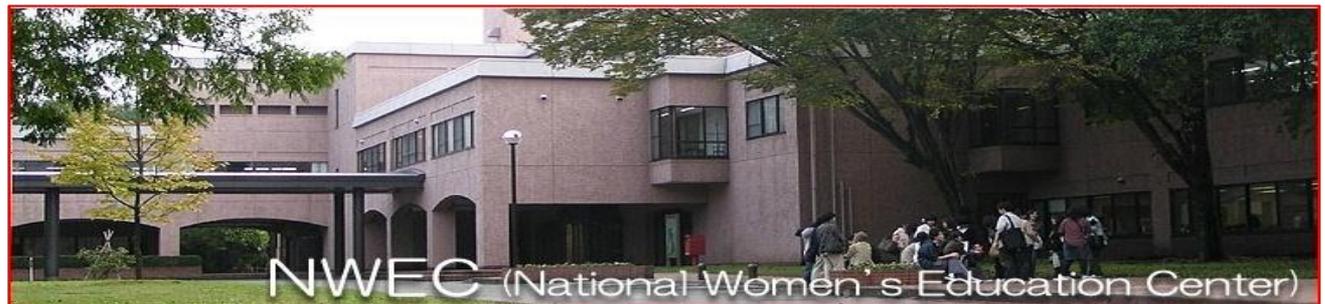


国立女性教育会館の機能と 女性センターの役割について

独立行政法人国立女性教育会館理事長 内海房子

2013,11,13



本日のアウトライン

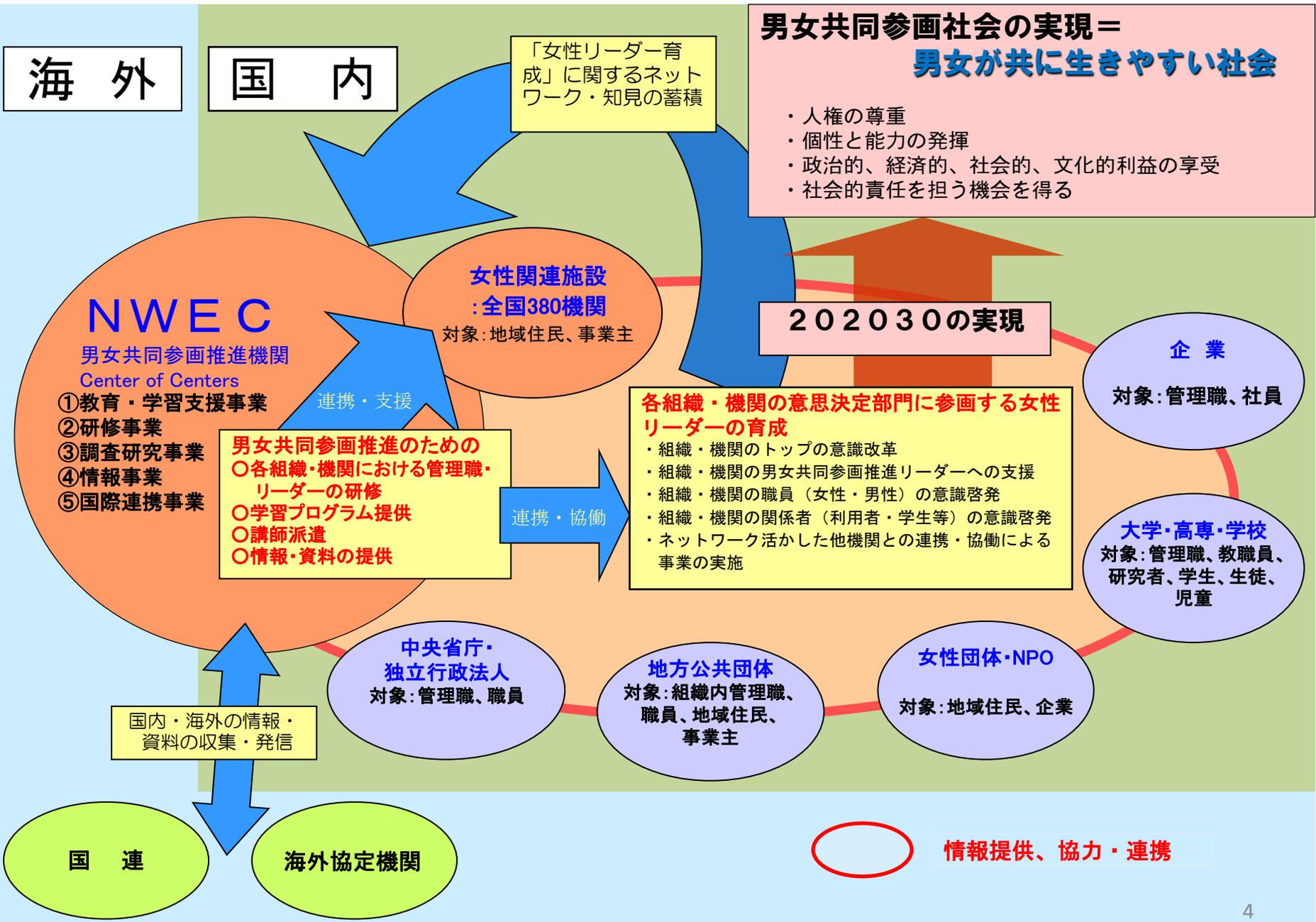
1. 国立女性教育会館の機能と役割
2. 男女共同参画センターに求められる役割



国立女性教育会館の機能



国立女性教育会館（NWE C）が考える我が国の男女共同参画社会の実現方策



女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修

- 男女共同参画推進に向け、①女性関連施設②地方公共団体③団体等の3者が抱える課題を共有し、連携・協働関係による解決を促す。
- 「第3次男女共同参画基本計画」を地域で実現している先進事例を共有。
- 関係省庁担当者からの施策報告と、参加者も交えた質疑応答から、男女共同参画に関する国の方向性など最新の動向を情報提供。
- 全日程を通じて、全国からの参加者同士の情報交換やネットワークづくりを支援。



国連婦人の地位委員会に関する報告など
国際的な取り組みの動向についての報告・講義

【主なプログラム内容】(25年度)

- 講義・情報提供(国際的視野から)
- 施策説明(内閣府、文部科学省、厚生労働省)
- コース別ワークショップ
- 情報交換会

【取扱いテーマ】

- 男女共同参画をめぐる国内外の動向
- 組織マネジメント力の向上
- 官官・官民・多様な団体との連携
- 人材・施設・財源など地域資源の活用



情報交換会では、女性センター、行政、団体の担当者がそれぞれの抱える課題について語り、知見を広めながら、解決へ向かうネットワークを構築

大学等における男女共同参画推進セミナー

- 国際競争力を維持・強化し、質の高い研究を進めていくためには、男女を問わず多様な研究者の育成が不可欠。
- 日本の学問・研究者の男女共同参画は他国に比し極端に遅れている。
- 大学・公的研究機関等の意思決定組織に所属する教職員等を対象に、高度で専門的な研修を実施。
- H25年度は11月28日(木)～29日(金)に実施。



「なぜ大学における男女共同参画が必要なのか」
について講義

【主なプログラム内容】(24年度)

- 講義・情報提供(国際的視野から)
- 施策説明(文部科学省より)
- 先進国の取組例紹介(ドイツ、韓国等)
- ベストプラクティス研究(企業の取組み)
- ワークショップ

【取扱いテーマ】

- ワークライフバランス推進の具体的取組
- 女性研究者の研究力アップ
- 男女共同参画意識の学内への浸透



課題の共有化

企業を成長に導く女性活躍促進セミナー

- 企業における女性の活躍促進を図るためには、トップに代表される企業内リーダーの意識改革が不可欠。
- 企業経営者、役員、管理職、現場で活躍する女性リーダー等を対象に、女性の活躍を促進することの意義や、ダイバーシティや男女共同参画の本質について学習するセミナーを実施。

※平成24年12月からこれまで4回実施

※県の経営者協会とも共催

- 参加者からは、他企業の取り組みについての情報を得たり、ネットワークを構築できる貴重な機会であるとの評価。
- これまでの議論から、女性の活躍を推進するためには、女性支援政策の充実よりも長時間残業の是正が効果的であることが指摘されている。



第1回 ■主催：独立行政法人 国立女性教育会館 ■後援：財団法人 21世紀職業財団

企業を成長に導く女性活躍促進セミナー

本セミナーは、企業において女性の活躍が一層推進されることを目的として、企業の人材活用の推進者、管理職、チームリーダーを対象に実施します。主な研修内容は以下のとおりです。そのほか、参加者同士の情報交換やネットワークづくりに役立つ情報交流会も行います。

都会の喧騒を離れた自然の恵みあふれる環境の中で、社内では経験しがたい豊かな時間をお過ごしいただけます。皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

基調講演

経済活性化とワーク・ライフ・バランスをともに実現する鍵
「ダイバーシティの本質を学ぶ」

ダイバーシティ（女性活躍推進）の本質について理解を深めます。

パネルディスカッション

「企業の成長は女性が強る」

企業における女性の活躍推進のために何をすべきかを考えます。

ワークショップ

「職場の課題と向き合う」

小グループに分かれて、女性活躍推進に関する課題をじっくり検討し、アクション・ラーニング手法を用いて深く掘り下げ、解決の糸口を探ります。

※基調講演とパネルディスカッションの詳細については、裏面をご参照ください。
※「基調講演 + パネルディスカッション」のみの参加も可能です。受講料3,000円

開催日		スケジュール表
<p>平成24年12月14日(金)～12月15日(土)</p> <p>1泊2日（初日のみの参加も可能です）</p>		<p>12月14日(金)</p> <p>13:00～13:20 開会のご挨拶</p> <p>13:20～14:20 基調講演</p> <p>14:30～16:30 パネルディスカッション</p> <p>16:40～18:10 ワークショップⅠ</p> <p>19:00～20:30 情報交流会</p>
<p>会場 独立行政法人 国立女性教育会館（NWEC）</p>		<p>12月15日(土)</p> <p>9:00～11:00 ワークショップⅡ</p> <p>11:10～12:20 ワークショップⅢ</p> <p>12:20～12:30 閉会</p>
<p>参加費</p> <ul style="list-style-type: none"> ●受講料：3,000円 ●情報交流会費：3,000円（希望者のみ） ●食費：1食700円～1,000円程度(おフェテリア方式) ●宿泊費：期間中は1泊1,000円(前・後泊も1泊1,000円) <p>※期間中の宿泊及び食事はすべて会場をご利用ください。</p>		<p>※日曜・プログラムは変更される場合があります。あらかじめご了承ください。</p>

お申込み・お問い合わせ先

- Eメール：progdiv@nwec.jp
- TEL：0493-62-6718・6724
担当：事業課 山下・森下
- HP：http://www.nwec.jp/
インターネットからお申込みいただけます。

独立行政法人国立女性教育会館 〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728



最寄駅：東武東上線嵐山駅下車 徒歩12分

らんざん会議(H25.8.24)

男女共同参画の推進のためには、女性センター、団体、学校、大学、企業、自治体が横断的に取り組む必要がある。NWECはナショナルセンターとして、それぞれの分野でこの問題に取り組むリーダーが一同に会し、共通する課題を探り、問題解決につながるネットワークの在り方について考えるための会議を開催。



組織で元気に活動する女性は多いが、組織の意思決定に関与する女性が構成員のバランスに比して極めて少ないことが分野を超えた共通の課題であることが明らかとなった。

調査研究の成果や資料・情報の提供等

(1) 調査研究の実施

- ①女性関連施設の実態調査
- ②大学内における男女共同参画の推進
- ③男女共同参画と男性
- ④ジェンダー統計

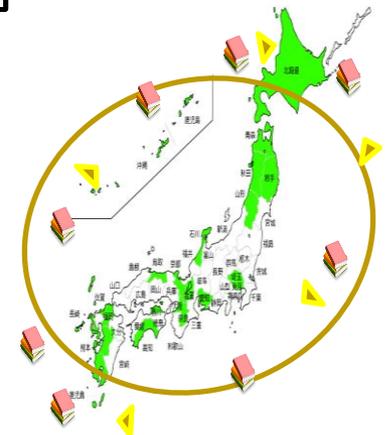
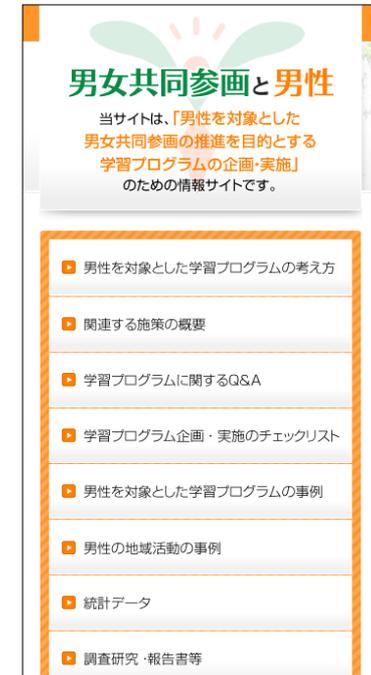
※成果はHPや専用サイト(「男女共同参画と男性」)等で普及印刷物(「男女共同参画ニュースレター」)による配信も

(2) 全国的な資料・情報の収集・提供

- ①女性教育情報センター
 - ・男女共同参画に関する国内外の情報を収集
- ②図書のパッケージ貸し出し
 - ・34機関へ6,500冊を貸出し。北海道から沖縄まで全国的展開
- ③女性情報ポータル“Winet”(ウィネット)
 - ・年間30万件近いアクセス

(3) 女性アーカイブ

- ①企画展示「建築と歩む」(大学・企業等7機関と連携)を実施
- ②女性情報アーキビスト養成研修(入門+実技コース)の実施
- ③「NWEC災害復興支援女性アーカイブ」を公開



女性関連施設の指定管理者導入施設に関する調査ー1

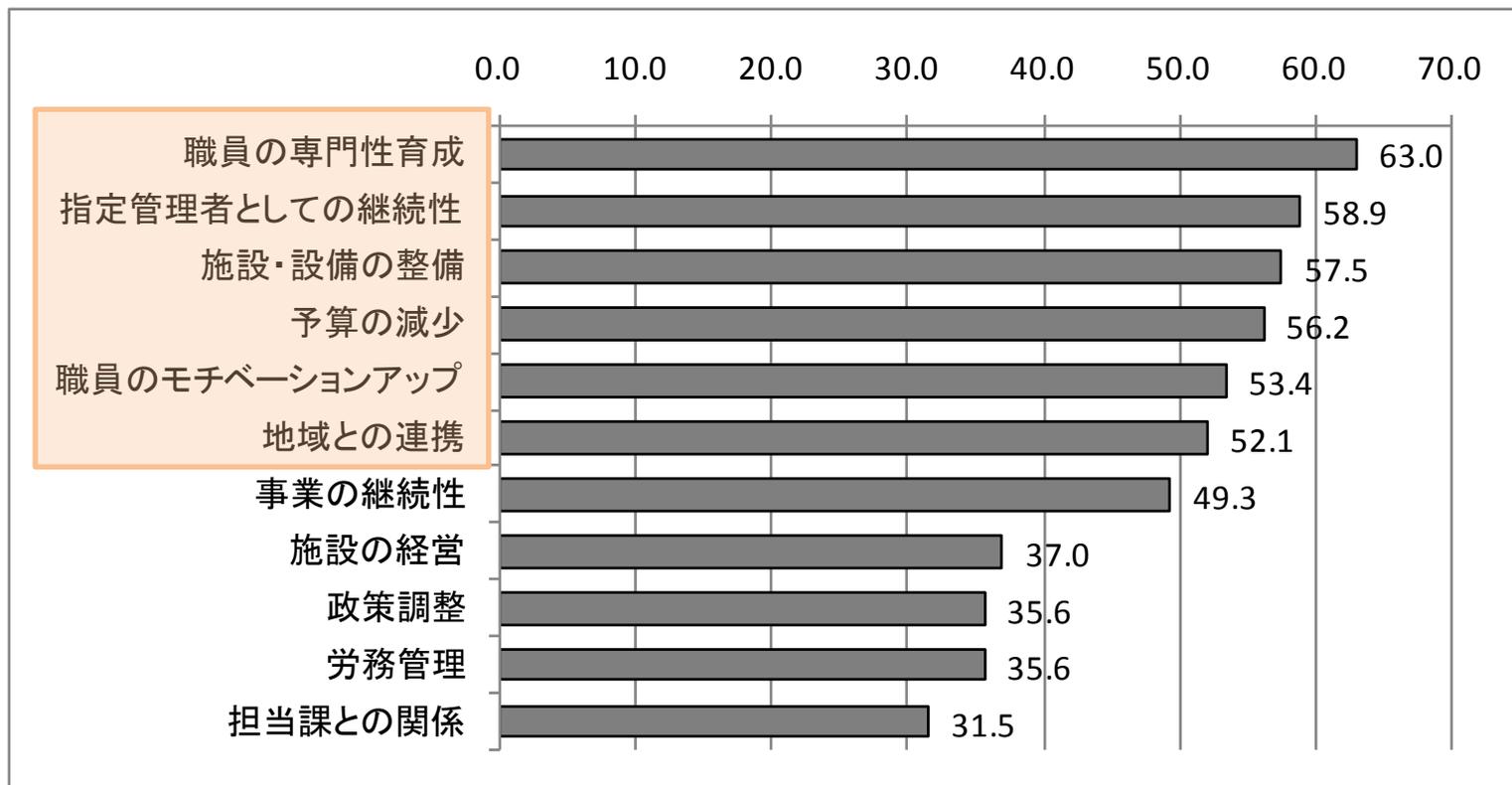
1. 課題意識に対する調査結果

平成23年度、全国の女性関連施設357施設を対象として調査を実施。

(有効回答数269、うち指定管理導入は72)

指定管理者としての課題について一番多かったのは「職員の専門性育成」で46施設(63.0%)。

以下、「指定管理者としての継続性」、「施設・設備の整備」、「予算の減少」、「職員のモチベーションアップ」、「地域との連携」が5割以上であった。



女性関連施設の指定管理者導入施設に関する調査－2

2. 課題意識が上位だったものに関する記述(指定管理施設が実施している対策や意見等)

(1) 職員の専門性育成

- ・対策として、ほとんどの施設が「各種研修への積極的な参加」を挙げている。
- ・スタッフの不足、経費削減によるパート社員増員など専門性育成の余裕がないとの回答も多数。

(2) 指定管理者としての継続性

- ・契約を継続するために、情報収集、事業の自己評価システム、実績の積み上げなどを努力。
- ・一方、契約期間が限定されているため、投資的経費の導入ができないといった声もあった。

(3) 施設・設備の整備

- ・施設を所管する自治体の担当者と情報を共有し予算確保するなどの努力。
- ・一方、老朽化しているにもかかわらず長期的な修繕予算が付かずその場凌ぎで対応という声も。

(4) 予算の減少

- ・対策として、「経費節減」「利用料収入の増加」「外部資金の導入」に努めている施設が多い。

(5) 職員のモチベーションアップ

- ・対策として、「研修への参加」「職員間の情報共有」を実施している施設が複数あった。
- ・しかし、指定管理料が減額になる中、長期的に雇用している職員のベースアップができないことがモチベーションを保つ上での課題となっているとの声も。

(6) 地域との連携

- ・「出前講座の実施」「大学・企業・他機関との協働事業の実施」が多い。
- ・「町内会長を運営委員に任命」「地域連携ネットワークに参加」「男女共同参画を推進・啓発している登録グループには特に情報提供を行うなど、研修会等が積極的にできるよう支援」といった取り組みもみられた。



地域の男女共同参画推進の拠点としてのセンター

1 住民に対する意識啓発

- ① 男女共同参画社会の意味・意義や具体的なイメージ
- ② 男女共同参画社会基本法・男女共同参画推進条例について
- ③ 組織・機関の意思決定部門に参画する女性リーダーの必要性
(202030の達成)

2 地域内の男女共同参画を推進する人材育成・研修の実施

- ① 地域内の各組織・機関の意思決定部門へ参画する女性リーダーの育成
- ② 地域内の各組織・機関（市の男女共同参画センターを含む）の男女共同参画の推進リーダーの育成
- ③ 都道府県内の市区町村の幹部職員、男女共同参画担当職員、その他職員に対する研修の実施。



3 地域内の連携・協働の推進

- ① 行政、大学、学生、企業、NPO、住民等と連携・協働し、男女共同参画に関する課題解決に向けた情報交換や事業の実施。

NWEC災害復興支援女性アーカイブ

- 女性アーカイブの情報等を共有する全国の女性関連施設とのネットワークを活かし、各地の女性関連施設に保存された**女性の視点での災害復興支援活動記録を一元的に収集・保存・管理・公開する仕組みを構築。**
- 各地の女性関連施設が果たしている災害復興支援活動の記録の散逸を防ぐとともに、全世界へ発信。
<http://w-archive.nwec.jp/saigai>

トップ画面

NWEC災害復興支援女性アーカイブ
http://w-archive.nwec.jp/il4/meta_pub/G000002wd

検索

女性関連施設による復興支援を通じた地域コミュニティ再生実践の記録を収集・保存します。

最新の登録データ

検索結果一覧

NWEC災害復興支援女性アーカイブ

更新日: 2013

検索結果一覧 72件ヒットしました (1-50/72)

検索条件 全ての項目(青森)
 [チェックしたデータのみ]

No.	サムネイル	施設・団体名	タイトル1	タイトル2
1		青森県男女共同参画センター	震災関係相談窓口開設	
2		青森県男女共同参画センター	情報ボードの設置	
3		青森県男女共同参画センター	「震災の経験を活かす」	図書館のテーマ展示
4		青森県男女共同参画センター	「男女共同参画の視点からみる防災「災害と女性について考える」	メルマガ文庫
5		青森県男女共同参画センター	青森県消防学校初任者教育	災害時における男女共同参画の必要性

独立行政法人 国立女性教育会館 〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728